

白壁

第7号 平成29年3月24日発行
題字 福井陽子



A君からのメッセージ

FairWind

先日、FairWindという学生サークルに所属する東京大学の学生三名が、ヒアリングのため本校を訪れました。このサークルは「地方高校生に追い風を」を合言葉に全国各地を飛び回り、地方の高校生に東京大学の魅力を伝え、東大を目指す意識づけや合格するための心構えをアドバイスする活動をしている団体です。今回の訪問は、地方の高校生や先生方が、東大に対してどのようなイメージをもっているのか、自分たちの活動にどのようなことを期待しているのかを知ることが目的だったということです。

三名のうちの一人A君は、首都圏で育ち、私立の中高一貫校で学び現役で東大文科三類に合格しました。周りも東大志望者が多く、「とりあえず」自分も東大を漠然と意識しながら勉強し、教育について学びたいという意志が固まった高2の終わりに、はつきりと文科三類を

目指したのだそうです。その時彼は「とりあえず、東大を意識した勉強の勉強」

主な私立大合格者数	
早稲田	9
慶應義塾	4
東京理科大	7
明治大	13
青山学院	1
立教大	5
中央大	7
学習院	1
同志社	2
立命館	6

をして、よかった」と思ったのだそうです。そんな環境に身を置く彼にとって、「地方高校生に追い風を」という意識は当然自身の経験から生まれたものではなく、都市と地方の様々な側面での違い、とりわけ教育環境の格差への問題意識からだったそうです。したがって地方の街を訪れて高校生と接することは、知識や刺激を「与える」と同時に、自分が知らない世界を体感し、気づきを「与えられる」貴重な経験でもあるのだそうです。

さて、青森に生まれ青森の公立高校に学び、都会の高校生の高い意識や経験値に引け目を感じつつ、進学を目指す皆さん。

「東大に入って地方の公立高校出身の友人と接し、その志の高さや能力の高さに敬服しています。ですからまったく引け目を感じることがありません。自分を過小評価することなく東大も視野に入れてください。その上で東大に進学するために自分がすべきことは何か、何をどのようにどこまでする必要があるかを客観的に把握して、臆せずチャレンジしてほしい——」こんなメッセージを彼から託されました。

決して簡単な道ではありません。しかし端からあきらめる道でもありません。歩くことで見える景色があります。登らなければ臨めない風景があります。さあ新三年・二年生の皆さん、この「追い風」に背中を押され、勇気の一步を踏み出そうではありませんか。

一般・公務員いずれの就職希望者も、採用試験への特別な対策が必要になります。詳しく知りたい生徒は進路指導部へ相談に来てください。早めの準備が合格への近道です。

2017国公立合格状況 (3/23現在)	
推薦・AO	42
前期	80
中期・後期	31
国公立合計	153

北大・薬(後期)2名合格！

公務員等合格状況	
■国家公務員	
国家公務員・一般職(事務区分)	1
国家公務員・税務職員	1
■地方公務員	
青森県職員・一般事務	1
青森市職員・事務職	1
■文部科学省管轄外の学校	
防衛大学校	2

●平成28年度
公務員就職の状況
今年度の就職志望者は、全員が公務員を志望し、一般企業への就職希望はありませんでした。志望者全員が見事国家公務員及び地方公務員試験に合格し、この

春から公務員としての道を進むことになりました。公務員試験は大学受験よりかなり早い時期に実施されるだけでなく、採用人数が少なく例年高い競争率となっているため、授業を軸とした普段の学習だけでなく計画的な対策と準備が必要になっています。また、文部科学省管轄外の学校の合格状況については、防衛大学校へ推薦で1名、一般で1名が見事難関を突破。専門的な学問を修めながら自衛官として働くことになります。

新3年生 3-4月の目標	新2年生 3-4月の目標
春休みは受験の天王山と心得よ！	この一ヶ月が2年生のスタートダッシュと心得よ！

●行事レポート1 Sプロジェクト

大学合格者による進路・受験ガイダンス

3月15日(水)

1・2年生の希望者約三百名を対象に「大学合格者による進路・受験ガイダンス」が開催されました。ガイダンスの講師役として、今年国公立一般前期試験で合格した人を中心に27名の卒業生が駆けつけてくれました。今年のガイダンスは学部系統により4会場に分かれ、先輩を囲みながら近い距離で話を聞き、各先輩を訪ねまわる「ワールドカフェ」方式で行いました。参加した生徒は、「センター試験対策と個別試験対策はどのくらいの比率でやったのか」「志望校の決め手は何か」「理科はどのように勉強したのか」など、具体的な質問が次々と出され、合格者の体験談を積極的に引き出していました。「11月からセンター試験までに100点アップさせるなんて無理、と思っていたけど信じて対策をしたら本当に上がった」などの合格者の生の声は、巷にあふれるどんな情報よりも生徒に響いていたようでした。参加者からも「勉強法について半信半疑だったことが、合格した先輩の口から直接聞くことができて、本当だとわかり自信になった」などの感想が寄せられました。この経験を年度末休業の自学自習や進路研究にぜひ生かしてください。



●行事レポート2 Mプロジェクト

パネルセッション「グループ発表」

3月21日(火)

医学科志望の2年生による、グループパネル発表が行われました。この取り組みは、Mプロジェクト(医学科志望者の探究・体験活動)・グループ課題研究の一環であり、入試を見据えた最初のプログラムです。Mプロ生は、学年末考査明けから計4回のミーティングを経て、パネ



●行事レポート3 Sプロジェクト

東工大・一橋ツアー 3月11～13日

このツアーは弘前高、大船渡高、盛岡三高、大島高、青高から40名ほどが集まり、大学生と過ごす2泊3日のプログラムです。



初日は、東大OB 山口幹生さんの「ドラマチックな人生」と題した講演、ロート製薬・伊藤あさぎさんのSDGsによる講演を聞き、その後は「留学について」というテーマのもと座談会を行いました。2日目は東工大キャンパスにて、研究室見学及び東京女子大の皆さんによる模擬講義&座談会。午後は留学生との上野公園散策、CGデザイナー・野本有紀さんの「趣味を仕事にする」という講演、座談会という流れで他校の生徒・学生と今までの自分、これからの自分について大いに話しあい、交流しました。最終日は東工大・一橋大に分かれ研究室訪問…と、最後までリアルで刺激的な体験ができました。

東京大学キャンパスツアー 3月18日
午前中は模擬講義・研究室やキャンパスの見学などを行いました。午後からは事前アンケートに東大生が答えるパネルディスカッション、「東大生の失敗に学ぶ」と題し、受験までの学習計画について考えるワークショップが催されました。濃密で刺激的な時間を過ごし、最後には全員が東大生から寄せ書きの色紙をいただいて帰路に着きました。これを日々の励みとして頑張りたいと思います。